

向き合っ、学び合っ、未来をつくる下永谷



しもながや

横浜市立下永谷小学校 学校だより 12月号

「何かに挑戦をしたことがありますか。」

校長 鈴木陽一

「みなさんは、何かに挑戦をしたことがありますか。」と語りかけているその脇のスクリーンには、大きく「挑戦」という文字が映し出されています。体育館の四方にプロジェクターとスクリーンが配置しており、その前に5年生が7～9人座っていました。5年生に向けて6年生が一人ずつ順番に、端末を操作しスピーチをしているときの一幕です。

『5年生に伝えたい今の気持ち「下小バトン」』の学習でのスピーチをしている場面です。この学習は単元名の通り、6年生が、いま感じていること・考えていることを5年生に向けてスピーチするものです（国語の教材名は、『今、私は、ぼくは』）。6年生は、どの子も自信をもってスピーチをしていました。内容は、さまざまで、「挑戦」「努力」「家族への感謝」「自由とは」「好きなこと」など、学校の最高学年の立場や役割について直接語っているわけではないのですが、最高学年である6年生になるとこんなことを考え伝える力がつく、君たちもそうになってほしいという思いを伝えているようです。

実際、6年生になると、こんなことを考えられるようになるのだと改めて感心させられました。また、プレゼンで使われているスライドもその子なりに工夫されスピーチにあった文字や絵、時には写真も活用されていました。スライドを行きつ戻りつさせ強調している子もいました。個性あるものであり楽しんで作っていることが感じられました。これまで、学級で互いに見合い感想や意見を交わし改善をしてきたそうです。その練習してきた成果も伝わってきました。夏前の「国際平和スピーチコンテスト」の学習や、他の単元、他教科での学習の積み上げの成果もあると考えます。現在のグローバル社会に通用する人材の育成が叫ばれ久しくなります。育成すべき能力として、表現力・問題解決能力・情報処理能力・情報の選択力・外国語力などがあげられます。一人一人が自分の思いを文章に表し、それを相手にわかりやすくプレゼンを活用し伝えている姿を見て、この子たちの将来が楽しみになるとともに頼もしさを感じました。聴いていた5年生も刺激を受けたようです。

本校では、「考えを伝えあい、学び合う楽しさを実感できる子どもの育成」を目指し、国語科を中心に互いに校内で授業公開をし、講師の方に指導していただいています。今後も子どもたちのために研鑽に努めてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、本校の教育活動へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。師走を迎え、寒さが厳しくなっておりますどうかご自愛ください。